養護教諭等

1　次の各問いに答えなさい。

（1）　次の文は、「学校保健安全法」（昭和 33 年法律第 56 号）の一部抜粋である。文中の（　ア　）、（　イ　）に当てはまる適切な語句を、下のａ～ｄの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。　　解答番号はアが［ 1 ］、イが［ 2 ］

第七条　学校には、健康診断、健康相談、保健指導、（　ア　）その他の保健に関する措置を行うため、保健室を設けるものとする。

第十八条　学校の設置者は、この法律の規定による健康診断を行おうとする場合その他政令で定める場合においては、（　イ　）と連絡するものとする。

（　ア　）

ａ　健康教育　　ｂ　環境衛生管理　　ｃ　救急処置　　ｄ　保健管理

（　イ　）

ａ　保健所　　ｂ　地域の医療機関　　ｃ　医師会　　ｄ　保健センター

（2）　次の文は、「学校保健安全法施行規則」（昭和 33 年文部省令第 18 号）の一部抜粋である。文中の（　ア　）、（　イ　）に当てはまる適切な語句を、下のａ～ｄの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

解答番号はアが［ 3 ］、イが［ 4 ］

第八条　学校においては、法第十三条第一項の健康診断を行つたときは、児童生徒等の（　ア　）を作成しなければならない。

（中略）

４　児童生徒等の（　ア　）は、（　イ　）年間保存しなければならない。ただし、第二項の規定により送付を受けた児童又は生徒の（　ア　）は、当該（　ア　）に係る児童又は生徒が進学前の学校を卒業した日から（　イ　）年間とする。

（　ア　）

ａ　保健調査　　ｂ　健康診断票　　ｃ　保健日誌　　ｄ　学校生活管理指導表

（　イ　）

ａ　一　　ｂ　三　　ｃ　五　　ｄ　十

養護教諭等

（3）次の文は、「学校保健安全法施行規則」（昭和33年文部省令第18号）の一部抜粋である。文中の（　ア　）～（　ウ　）に当てはまる語句を、下のａ～ｄの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

解答番号はアが［ 5 ］、イが［ 6 ］、ウが［ 7 ］

第十条　法第十三条第二項の健康診断は、次に掲げるような場合で必要があるときに、必要な検査の項目について行うものとする。
一　感染症又は食中毒の発生したとき。
二　風水害等により感染症の発生のおそれのあるとき。
三　（　ア　）における休業日の直前又は直後
四　結核、（　イ　）その他の疾病の有無について検査を行う必要のあるとき。
五　（　ウ　）のとき。

（　ア　）
a　春季　　b　夏季　　c　秋季　　d　冬季

（　イ　）
a　新型インフルエンザ　　b　感染性胃腸炎　　c　寄生虫病　　d　咽頭結膜熱

（　ウ　）
a　入学　　b　転学　　c　退学　　d　卒業

2　健康診断について、次の各問いに答えなさい。

（1）次の文は、「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成27年度改訂」（日本学校保健会）の「第１章　児童、生徒、学生及び幼児の健康診断の実施　5　方法及び技術的基準　7　聴力」の一部抜粋である。文中の（　ア　）～（　エ　）に当てはまる適切な語句を、下のａ～ｄの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。ただし（　イ　）は、下のａ～ｂの中から一つ選び、記号で答えなさい。

解答番号はアが［ 8 ］、イが［ 9 ］、ウが［ 10 ］、エが［ 11 ］

1　選別聴力検査は（　ア　）耳から始めるが、どちらの耳から始めればよいか分からないときは（　イ　）耳から始める。
（中略）
3　まず（　ウ　）Hz30dBの音を聞かせ、聞こえるかどうか応答させる。応答が不明瞭なときには断続音を用いて音を切ったり、出したりして応答を求める。明確な応答が得られたら4,000Hz（　エ　）dBの音を聞かせ応答を確かめる。応答は応答ボタンを押すか手を挙げるなどの合図で行わせる。

（　ア　）
a　聞こえのよい　　b　聞こえのわるい　　c　汚れている　　d　汚れていない

（　イ　）
a　右　　b　左

（　ウ　）
a　1,000　　b　2,000　　c　3,000　　d　5,000

（　エ　）
a　10　　b　15　　c　20　　d　25

養護教諭等

（2）　次の文は、「学校検尿のすべて　令和２年度改訂」（令和３年　日本学校保健会）の「第５章　腎臓病の分類とそれぞれの病気」の内容について、次の①～③の各問いに答えなさい。

①　溶連菌感染後急性糸球体腎炎について、適切なものをａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。　解答番号は 12

ａ　急性腎炎症候群の一種で、溶連菌感染による急性咽頭炎から２週間程度、皮膚感染症から３～６週間程度したところで発症する。
ｂ　ほとんどの場合、２～３週間くらいの経過で治る。
ｃ　高血圧や強い浮腫があるときは自宅での安静が必要である。
ｄ　高血圧や浮腫があっても、安静にすれば治るため、利尿薬や降圧薬は使用しない。
ｅ　塩分制限を行う場合、１日10g程度で開始する。

②　２次性糸球体腎炎について、適切なものをａ～ｄの中から一つ選び、記号で答えなさい。　解答番号は 13

ａ　蛋白尿や血尿がみられないまま、高血圧や腎機能の低下がゆるやかに進行する可能性のある病態である。
ｂ　小児で多くみられる２次性糸球体腎炎の一つに、紫斑病性腎炎がある。紫斑病性腎炎は、IgE血管炎という病気の一部として糸球体腎炎がおこり、体幹を中心とする紫斑をともなう。
ｃ　小児で多くみられる２次性糸球体腎炎の一つに、ループス腎炎がある。ループス腎炎は、全身性エリテマトーデスというリウマチ性疾患の一症状として発症する腎炎で、思春期の女児に多くみられる。
ｄ　蛋白尿が多い場合や高血圧、腎臓の働きの低下を認める場合に腎生検を行う。元となる病気が重いときには腎生検は行わない。

③　次の文の（　　）に当てはまる疾患名を下のａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。　解答番号は 14

（　　）は、腎臓のろ過装置である糸球体から非常に多くの蛋白質が漏れ出てしまい、その結果血液中の蛋白質が少なくなり、全身の浮腫をきたす病気である。診察や検査の結果、（　　）と診断されたら、ステロイド薬での治療を開始する。

ａ　先天性腎尿路異常　　ｂ　嚢胞性腎疾患　　ｃ　無症候性血尿　　ｄ　ネフローゼ症候群　　ｅ　尿路感染症

（3）「学校心臓検診の実際　スクリーニングから管理まで　令和２年度改訂」（令和３年　日本学校保健会）の「Ⅲ　検診の実際と判定　Ａ　１次検診の実施項目とその判定　4　心電図検査」に示されている内容について、次の①、②の各問いに答えなさい。

①　次の文のうち、誤っているものはいくつあるか。下のａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。

解答番号は 15

ア　現行の学校心臓１次検診では、心電図検査が唯一の客観的所見である。
イ　最近注目される致死的不整脈、心筋疾患、原発性肺高血圧症などの発見・診断には心電図所見が欠かせない。
ウ　不整脈、心筋疾患等を正しくスクリーニングするためには、全地域で12誘導心電図を導入すべきである。
エ　学校心臓検診での心電図検査は、平成７年度から実施されるようになった。
オ　現行では、小学校のみ１年生全員の心電図検診が義務付けられている。

ａ　１つ　　ｂ　２つ　　ｃ　３つ　　ｄ　４つ　　ｅ　５つ

② 表中の（　ア　）、（　イ　）に当てはまる波形を、下のａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。

解答番号はアが 16 、イが 17

波形	所見の持つ意義
（　ア　）	この所見の異常のみで通常２次検診の必要は無い。心室への負荷、心室内伝導障害の診断に活用される。
（　イ　）	心室起電力を示すもので、小児では心室肥大判定基準に用いられる。この波の低電位差は、小児の場合、心筋全体の機能低下というより、肥満などによる胸郭壁の肥厚を示唆しているといえる。

ａ　Q波　　ｂ　QRS電気軸　　ｃ　RS波　　ｄ　ST接合部およびST区間　　ｅ　T波

3 「学校環境衛生管理マニュアルー『学校環境衛生基準』の理論と実践［平成30年度改訂版］」（2018年８月　文部科学省）について、次の各問いに答えなさい。

（1） 次の文は、「＜参考Ⅱ－３－７＞机、いすの高さ」の一部抜粋である。文中の（　ア　）～（　ウ　）に当てはまる最も適切な語句を、下のａ～ｄの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

解答番号はアが 18 、イが 19 、ウが 20

・机、いすの高さが児童生徒に適切であるかの確認は、（　ア　）に個別で対応する方が適切である。
・机面の高さは、（　イ　）／３＋下腿長であるものを配当することが望ましい。
・児童生徒等が机の（　ウ　）に足を出している場合は、机、いすの高さの不適合ばかりでなく、机の構造的な原因によることもあるので留意する必要がある。

（　ア　）
ａ　定期的　　ｂ　断続的　　ｃ　臨時　　ｄ　日常的

（　イ　）
ａ　身長　　ｂ　胸囲　　ｃ　座高　　ｄ　上肢長

（　ウ　）
ａ　前面　　ｂ　後面　　ｃ　上面　　ｄ　側面

（2）「第Ⅱ章　学校環境衛生基準　第１　教室等の環境に係る学校環境衛生基準　１　換気及び保温等　(1) 換気」に示されている留意点として、適切なものをａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。

解答番号は 21

ａ　空気清浄度の判定は、一酸化炭素の測定結果のみで評価する。
ｂ　冷房時の換気は不要である。
ｃ　エアコンは室内の空気と外気の入れ替えを行っている。
ｄ　インフルエンザ等の感染症拡大の予防対策として換気を行う。
ｅ　教室等における換気の基準として、二酸化炭素濃度は2,500ppm以下であることが望ましいとされている。

（３）次の表は、「第Ⅱ章　学校環境衛生基準　第２　飲料水等の水質及び施設・設備に係る学校環境衛生基準　１　水質　(1) 水道水を水源とする飲料水（専用水道を除く。）の水質」に示されている内容の一部をまとめたものである。表中の（　ア　）～（　エ　）に当てはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものをａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。

解答番号は 22

検査項目	基準
一般細菌	１mLの検水で形成される集落数が（　ア　）以下であること。
pH値	（　イ　）以上8.6以下であること。
（　ウ　）	５度以下であること。
遊離残留塩素	給水における水が、遊離残留塩素を（　エ　）mg/L以上保持するように塩素消毒すること。

ａ　ア　100　イ　5.8　ウ　色度　エ　0.1
ｂ　ア　10　イ　6.5　ウ　濁度　エ　0.1
ｃ　ア　10　イ　5.8　ウ　色度　エ　0.01
ｄ　ア　100　イ　6.5　ウ　濁度　エ　0.01
ｅ　ア　100　イ　6.5　ウ　濁度　エ　0.1

４　救急処置や疾病管理について、次の各問いに答えなさい。

（１）「スポーツ事故防止ハンドブック（解説編）」（令和２年12月　日本スポーツ振興センター）について、次の①～④の各問いに答えなさい。

①「心停止（突然死）の防止」の「２.一次救命処置について　(1) 熱中症やてんかん発作が疑われる場面の一次救命処置実施の判断ポイント」について、適切なものはいくつあるか。下のａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。

解答番号は 23

ア　熱中症の場合、呼吸停止は起こらない。
イ　熱中症の場合、身体冷却を必ず優先する。
ウ　死戦期呼吸がみられたら、心肺蘇生は行わない。
エ　てんかん発作では精神的なストレスや、寝不足、発熱、また季節の変わり目（特に春から夏にかけて気温が高くなってくる時期）よりも、運動の負荷に注意が必要である。
オ　処方される薬の種類や量が変わった場合、てんかん発作が起こりやすくなる。

ａ　１つ　ｂ　２つ　ｃ　３つ　ｄ　４つ　ｅ　５つ

②「頭頸部外傷への対応」及び「頭頸部外傷の事故防止」の内容について、適切なものをａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。

解答番号は 24

ａ　脳震盪は、必ず意識消失を伴う。
ｂ　脳震盪によって、失見当識がみられる場合がある。
ｃ　脳震盪によって、多弁がみられる場合はない。
ｄ　脳震盪が疑われたら、少なくとも１時間は観察し、患者を１人きりにしない。
ｅ　脳の損傷は、頭が揺さぶられるだけでは発生しない。

③ 次の表は、「熱中症への対応」に示されている内容の一部をまとめたものである。表中の（　　）に当てはまる語句を、下のａ～ｄの中から一つ選び、記号で答えなさい。　解答番号は 25

病型	症状と対応
（　　）	・主に脱水による ・全身倦怠感、脱力感、めまい、吐き気、嘔吐、頭痛等の症状が起こる。高体温にならないことが多い。 ・涼しい場所に運び、衣服をゆるめて寝かせ、水分と塩分を補給すれば通常は回復する

ａ　熱射病　　ｂ　熱けいれん　　ｃ　熱失神　　ｄ　熱疲労

④ 「歯・口の外傷への対応」の内容について、適切なものをａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。

解答番号は 26

ａ　歯の外傷は、最初に出血があるかどうかで重要度を判定する。
ｂ　歯並びがずれた、痛みが強い、口が閉まらない場合は陥入であり、119 番通報する。
ｃ　歯が欠けた場合、神経が見えていればすぐに歯科医院を受診する。
ｄ　抜けた歯を持つ際は、歯根を持つ。
ｅ　抜けた歯は、30 分以内に水道水に浸して受診する。

（2） 次の文は、「赤十字救急法講習教本（15 版）」（令和４年４月　日本赤十字社）の「第４章　止血　２　止血法の種類と止血の理論　（4）止血帯止血法」の一部抜粋である。文中の（　ア　）～（　エ　）に当てはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものをａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。　解答番号は 27

三角巾と棒などを使用する場合
・幅（　ア　）cm くらいの帯状の物を、出血している位置の約（　イ　）cm 中枢側（心臓寄り）の上肢（下肢）にあて、裏側で交差させて上に戻し、帯の上で（　ウ　）にする。
・帯と（　ウ　）の間に棒を差し込み、片方の手（指）で帯をおさえるようにし、もう一方の手で、棒と（　ウ　）を上方に引き上げながらねじり、止血をする。
・止血帯を閉めたら、棒の位置を固定するように、帯の両端を棒の両端に巻き付け、余った端を傷病者の上肢（下肢）に巻いて結ぶ。
・止血帯をかけた（　エ　）を札や傷病者の手などわかりやすい場所に、マジック等で記入する。

ａ　ア　5　　イ　15～18　　ウ　本結び　　エ　時刻
ｂ　ア　1　　イ　5～8　　ウ　本結び　　エ　人物名
ｃ　ア　1　　イ　15～18　　ウ　半結び　　エ　時刻
ｄ　ア　5　　イ　5～8　　ウ　本結び　　エ　人物名
ｅ　ア　5　　イ　5～8　　ウ　半結び　　エ　時刻

養護教諭等

（３）　次の文は、「学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令の施行について（通知）」（５文科初第345号）（令和５年４月28日　文部科学省）の一部抜粋である。文中の（　ア　）～（　エ　）に当てはまる語句を、下のａ～ｄの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。　　解答番号はアが［ 28 ］、イが［ 29 ］、ウが［ 30 ］、エが［ 31 ］

・新型コロナウイルス感染症への感染が確認された児童生徒等に対する出席停止の期間は、「発症した後（　ア　）日を経過し、かつ、症状が（　イ　）した後（　ウ　）日を経過するまで」を基準とすること
・「症状が（　イ　）」とは、従来の社会一般における療養期間の考え方と同様、解熱剤を使用せずに解熱し、かつ、呼吸器症状が改善傾向にあることを指すこと
・出席停止解除後、発症から（　エ　）日を経過するまでは、当該児童生徒に対してマスクの着用を推奨すること。児童生徒等の間で感染の有無やマスクの着用の有無によって差別・偏見等がないよう、適切に指導を行うこと

（　ア　）
ａ　一　　ｂ　二　　ｃ　三　　ｄ　五

（　イ　）
ａ　完治　　ｂ　軽快　　ｃ　消失　　ｄ　治癒

（　ウ　）
ａ　一　　ｂ　二　　ｃ　三　　ｄ　五

（　エ　）
ａ　5　　ｂ　7　　ｃ　10　　ｄ　14

（４）　次の表は、「学校において予防すべき感染症の解説〈令和５年度改訂〉」（令和６年３月22日　日本学校保健会）の「Ⅲ　感染症各論」に示されている内容の一部である。表中の（ア）～（ウ）に当てはまる語句を、下のａ～ｄからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。　　解答番号はアが［ 32 ］、イが［ 33 ］、ウが［ 34 ］

感染症	症状・予後
（　ア　）	典型例では、臨床的に、カタル期、発しん期、回復期に分けられる。カタル期には眼が充血し、涙や眼脂（目やに）が多くなる、咳、鼻水等の症状と発熱がみられ、口内の頬粘膜にコプリック斑という特徴的な白い斑点（粘膜疹）が見られるのが診断のポイントである。
手足口病	発熱と口腔・咽頭粘膜に痛みを伴う（　イ　）ができ、唾液が増え、手足末端、肘、膝、臀部等に（　イ　）がみられるのが特徴。発熱は余り高くはならないことが多く、１－３日で解熱する。
（　ウ　）	上気道感染では発熱と咽頭痛、咽頭扁桃の腫脹や化膿、頸部リンパ節炎。治療が不十分な場合は、リウマチ熱や急性糸球体腎炎を併発する場合がある。

（　ア　）
ａ　梅毒　　ｂ　風しん　　ｃ　水痘　　ｄ　麻しん

（　イ　）
ａ　バラ疹　　ｂ　丘しん　　ｃ　紅斑　　ｄ　水疱

（　ウ　）
ａ　帯状疱疹　　ｂ　溶連菌感染症　　ｃ　伝染性膿痂疹　　ｄ　ヘルパンギーナ

（5）「学校生活におけるアトピー性皮膚炎Q＆A《令和３年度改訂》」（令和４年２月　日本学校保健会）に示されている内容として、適切なものをａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。　解答番号は 35

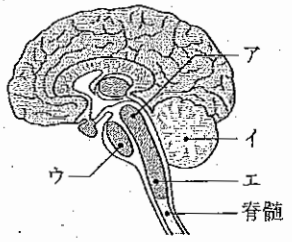
ａ　アトピー性皮膚炎を簡便に分類する方法として、強い炎症を伴う部位が体表面積の30％以上にみられる場合は、重症と分類される。
ｂ　アトピー性皮膚炎におけるリアクティブ療法は、抗炎症外用薬を毎日しっかり使用して皮疹を十分に軽快させ、明らかに湿疹がなくなったところで抗炎症外用薬を週２回程度塗り続けるものである。
ｃ　アトピー性皮膚炎の児童生徒は、原則、プールに入ることを禁止する。
ｄ　木綿素材の体操着が原因でかゆみが生じることがあるため、化繊素材の体育着の着用を許可する。
ｅ　帽子のつばが７cmあれば約60％の紫外線をカットできる。肌の露出を最小限にするよう指導する。

（6）「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改訂》」（令和２年３月　日本学校保健会）に示されている内容として、適切なものをａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。　解答番号は 36

ａ　食物アレルギーのうち、最も典型的な病型は、即時型である。原因物質を食べて５分後に口腔内の症状が誘発されるが、多くは局所の症状だけで治療も不要である。
ｂ　アナフィラキシーが誘発される病型に、運動依存性食物誘発アナフィラキシーがある。
ｃ　緊急時に備えた処方薬のうち、内服薬としては、多くの場合、抗ヒスタミン薬やステロイド薬が処方されている。
ｄ　「エピペン®」は光で分解しやすいため、携帯用ケースに収められた状態で保管し、使用するまで取り出すべきではない。また、冷所での保存が望ましく、日光のあたる高温下で保存すべきではない。
ｅ　給食の原材料を詳細に記した献立表を事前に配布し、それをもとに保護者や担任などの指示または児童生徒自身の判断で、給食から原因食物を除いて食べる対応を、除去食対応という。

（7）次の図は、「精神疾患に関する指導参考資料　新学習指導要領に基づくこれからの高等学校保健体育の学習」（令和３年３月　日本学校保健会）の「コラム　心の健康と脳の働き」に示されている「脳幹の構造」図である。（　ア　）～（　エ　）に当てはまる語句の組み合わせとして最も適切なものを、ａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。　解答番号は 37

脳幹の構造



ａ　ア　間脳　イ　小脳　ウ　視床　エ　橋
ｂ　ア　中脳　イ　小脳　ウ　橋　エ　延髄
ｃ　ア　間脳　イ　中脳　ウ　橋　エ　視床下部
ｄ　ア　中脳　イ　小脳　ウ　視床　エ　橋
ｅ　ア　間脳　イ　中脳　ウ　視床　エ　延髄

養護教諭等

5　学校保健について、次の各問いに答えなさい。

（1）「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引　令和３年度改訂」（令和４年３月　日本学校保健会）について、次の①～③の各問いに答えなさい。

①　次の文は、「第２章　発達段階別心身の健康問題の特徴と理解　２　発達段階別心の健康問題の特徴と理解　(1) 学童期（小学校）」の一部抜粋である。文中の（　ア　）～（　ウ　）に当てはまる語句を、下のａ～ｄの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。　解答番号はアが 38 、イが 39 、ウが 40

小学校低学年を過ぎるころから出現する可能性のある障害として、チック障害、（　ア　）障害（しばしばけんかをする、うそをつく、放火、盗み、動物をいじめるなど）、（　イ　）障害（大人に対して反抗的、拒否的、攻撃的になり、問題行動を繰り返す）などがある。チック障害は、単なる癖と誤解されやすいが、いじめの原因になることがあるため、適切な対応と支援を行う必要がある。（　ア　）障害や（　イ　）障害は、意図的な社会規範の逸脱や大人への反抗という形で現れるため、生徒指導上の問題として取り上げられやすいが、実際には（　ウ　）を必要とする障害であり、メンタルヘルスの視点からの対応が必要となることに留意する必要がある。

（　ア　）
ａ　行為　　ｂ　コントロール　　ｃ　行動　　ｄ　衝動性

（　イ　）
ａ　注意欠陥多動性　　ｂ　学習　　ｃ　反抗挑戦性　　ｄ　パーソナリティ

（　ウ　）
ａ　児童相談所における指導　　ｂ　児童自立支援施設における矯正教育
ｃ　児童指導員による療育　　ｄ　専門医による治療

②　「第３章　学校における健康相談の進め方と支援体制づくり　４　基本的な相談技術及び留意点」に示されている内容として、適切なものはいくつあるか。下のａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。　解答番号は 41

ア　広汎性発達障害のある児童生徒の場合、えん曲な質問や曖昧な言い方にする。
イ　保護者にしかできないこと、教職員にしかできないこと等、お互いにできることに限界を設けないようにする。
ウ　児童生徒は、学校での様子と家庭での様子が異なる場合があることを認識する。
エ　保護者との相談では、保護者は児童生徒の課題をどう理解し、どのようにしたいと願っているのかをくみ取る。
オ　保護者との相談や訪問による相談の場合には、保護者に無理のない時間帯や相談時間にし、学校側は無理をする。

ａ　なし　ｂ　１つ　ｃ　２つ　ｄ　３つ　ｅ　４つ

③　次の文は、「地域の主な関係機関とその役割」（例）の一部抜粋である。該当する関係機関を、下のａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。　解答番号は 42

万引き、薬物乱用等の非行、喫煙や深夜徘徊等の不良行為、また、いじめ、児童虐待、犯罪被害等で悩んでいる子供や保護者等からの相談に応じ、問題の早期解決に向け、支援する。

ａ　教育センター　　ｂ　子ども家庭支援センター
ｃ　精神保健福祉センター　　ｄ　少年サポートセンター
ｅ　発達障害者支援センター

養護教諭等

（2）「学校における子供の心のケアーサインを見逃さないために－」（平成26年３月　文部科学省）に示されている内容について、次の①～④の各問いに答えなさい。

① 次の文について、適切なものをａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。　解答番号は 43

ａ　PTSDは、A.実際に危うく死にそうなできごとを体験したり目撃したりしたあとで、B.再体験症状・C.回避症状・D.過覚醒症状などが、できごとの後10日間以上にわたり認められ、生活に支障を来している場合に診断される。
ｂ　危機に遭遇しただけでなく、その結果として転居・転校をした場合、精神的不調を来す場合は少ない。
ｃ　PTSDの子供は、過覚醒症状や麻ひ症状と関連して睡眠覚醒リズムが不規則になりがちである。
ｄ　視覚や聴覚以外の感覚による断片的内容（臭い、触覚など）がトラウマ化した場合、健康観察する教員にとってトラウマの対象は分かりやすい。
ｅ　自閉症スペクトラム障害がある場合、場面ごとに分断されたトラウマ性記憶を生みにくい。

② 次の文中の下線部について、適切なものはいくつかあるか。ａ～ｅから一つ選び、記号で答えなさい。解答番号は 44

PTSDのように重いストレス症状を抱えた子供に対応する際、まず学校と医療機関の役割の違いをはっきりと理解しておく必要がある。原則として、医療機関が担うのは専門的治療（キュア）であり、幾つかの技法を用いてトラウマに焦点を当てた治療を個別に行う。そのうち子供に用いられる治療法として、「トラウマ・フォーカストａ認知行動療法」、「ｂ呼吸運動による脱感作と再処理法」などがある。

学校が担う役割は子供の「ケア」であり、子供ができるだけ安定した学校生活を送れるよう支援し、健康回復の促進を図ることが目的となる。学校が行うケアでは、ｃ直接的あるいは個別にトラウマを扱いながら、学校という集団の場で子供が日常性と安全感を取り戻し、緊張緩和の促進、精神を安定させる作業や未来志向的な取組等を活用し、子供が本来もつ健康な部分を引き出すことにポイントを置くことが適切である。

トラウマに触れる可能性がある集団的取り組み（避難訓練、被災当時の回想や津波をテーマにした話合い等）を学校で行う場合、ｄ被災からあまり時間をおかず、クラスの子供たちが安定しており、親族・友達を失った子供やPTSDのある子供の回復状況を確認した上で行う必要がある。

専門的治療（キュア）とケアは相補的な役割を担っており、子供の症状に応じてｅ専門機関と連携することが不可欠である。なお、医療機関によっては、治療と合わせて作業療法、園芸療法、音楽療法等のリハビリテーションが提供されることもある。必要に応じてリハビリテーション担当者と連携して学校でのケアを検討するのも一方法である。

ａ　1つ　　ｂ　2つ　　ｃ　3つ　　ｄ　4つ　　ｅ　5つ

③ 次の文の（　　）に当てはまる語句を、下のａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。　解答番号は 45

児童生徒が授業中ぼんやりすることはよくあることだと思われがちである。しかし、ふだんはそうではない子供がよくぼんやりするようになったり、危機発生後にぼんやりするようになった場合、それは症状である可能性がある。その代表は心的外傷後ストレス障害（PTSD）の子供に起きやすい「解離」と呼ばれる症状である。

解離という症状には幾つかの種類があるが、PTSDの時に起きやすいのは、意識が目の前の現実から遊離してしまう（　　）状態である。

ａ　うつ　　ｂ　退行　　ｃ　過呼吸　　ｄ　躁　　ｅ　白昼夢

④「話を聞くときの、子供を勇気づける対応（メッセージ）」として、好ましくない対応を、ａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。　解答番号は 46

ａ　つらかったね
ｂ　良く話してくれたね
ｃ　何とかなるよ
ｄ　達成できる目標を考えよう
ｅ　がんばってるね

（3）「子供たちを児童虐待から守るために－養護教諭のための児童虐待対応マニュアル－」（平成26年　日本学校保健会）の「第４章　学校における虐待の気付きと初期対応」に示されている「特徴のある外傷所見」について、適切なものをａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。　解答番号は 47

ａ　抜けた毛の毛根が発赤している、脱毛部分が腱膜下血腫によって膨隆しているなどの場合は、頭髪を引き抜かれたことによる脱毛が疑われる。
ｂ　スラッピング・マークは、げんこつで殴られたときに多くできる。
ｃ　シガレット・バーンは、直径が約８mmで境界不鮮明な円形を呈しており、中央部分に周辺部分よりも深いやけどが認められる。
ｄ　熱した個体を押し付けられたときにできる熱傷をやじりマークという。
ｅ　液体熱傷のうち、熱した液体に浸された場合、液体の上縁に一致して水平線が形成される。これを水平線バーンという。

6「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編」の「第２章　保健体育科の目標及び内容　第２節〔保健分野〕」及び「第３章　指導計画の作成と内容の取扱い」に示されている内容について、各問いに答えなさい。

（1）次の文は、「第２章　第２節〔保健分野〕　２　内容」の「(1) 健康な生活と疾病の予防　(ｴ) 喫煙，飲酒，薬物乱用と健康　㋐　薬物乱用と健康」の一部抜粋である。文中の（　　）に当てはまる最も適切な語句を、下のａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。　解答番号は 48

薬物乱用については、覚醒剤や（　　）を取り上げ、摂取によって幻覚を伴った激しい急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと、薬物の連用により依存症状が現れ、中断すると精神や身体に苦痛を感じるようになるなど様々な障害が起きることを理解できるようにする。

ａ　有機溶剤　　ｂ　コカイン　　ｃ　危険ドラッグ　　ｄ　MDMA　　ｅ　大麻

（2）次の文は、「第２章　第２節〔保健分野〕、３　内容の取扱い」の一部抜粋である。文中の（　　）に当てはまる最も適切な語句を、下のａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。　解答番号は 49

（　　）を取り入れるねらいは、（　　）の方法を習得することではなく、内容について仮説を設定し、これを検証したり、解決したりするという実証的な問題解決を自ら行う活動を重視し、科学的な事実や法則といった指導内容を理解できるようにすることに主眼を置くことが大切である。

ａ　ディスカッション　　ｂ　ブレインストーミング　　ｃ　実習　　ｄ　実験　　ｅ　課題学習

養護教諭等

（3）「第３章　１　指導計画の作成」に示されている内容として、適切なものをａ～ｅの中から一つ選び、記号で答えなさい。

解答番号は 50

a　保健体育科の指導に当たっては、(1)「知識及び技術」が習得されること、(2)「思考力、判断力、表現力等」を育成すること、(3)「学びに向かう力、人間力等」を涵養することが偏りなく実現されるよう、単元など内容や時間のまとまりを見通しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うことが重要である。

b　保健分野の授業時数は、３学年間で 105 単位時間程度配当する。

c　保健分野の学年別の授業時数の配当については、１～２学年に集中させる。

d　「(2) 心身の機能の発達と心の健康」の内容のみ、指導する学年が指定されている。

e　体育分野の「Ａ体つくり運動」のア「体ほぐしの運動」では具体的な運動の視点から、保健分野の (2)「心身の機能の発達と心の健康」のア (イ)「欲求やストレスへの対処と心の健康」では欲求やストレスへの適切な対処の視点から、それぞれ取り上げているので、この点を十分考慮して関連のある指導を工夫する。

令和7年度佐賀県公立学校教員採用選考試験　解答一覧表(養護教諭)

問題番号			解答番号	正答	配点
大問	中問	小問			
1	(1)	ア	1	c	4
		イ	2	a	4
	(2)	ア	3	b	4
		イ	4	c	4
	(3)	ア	5	b	4
		イ	6	c	4
		ウ	7	d	4
2	(1)	ア	8	a	4
		イ	9	a	4
		ウ	10	a	4
		エ	11	d	4
	(2)	①	12	a	4
		②	13	c	4
		③	14	d	4
	(3)	①	15	a	4
		②ア	16	b	4
		②イ	17	c	4
3	(1)	ア	18	d	4
		イ	19	c	4
		ウ	20	d	4
	(2)		21	d	4
	(3)		22	a	4
4	(1)	①	23	a	4
		②	24	b	4
		③	25	d	4
		④	26	c	4
	(2)		27	e	4
	(3)	ア	28	d	4
		イ	29	b	4
		ウ	30	a	4
		エ	31	c	4
	(4)	ア	32	d	4
		イ	33	d	4
		ウ	34	b	4
	(5)		35	e	4
	(6)		36	c	4
	(7)		37	b	4
5	(1)	①ア	38	a	4
		①イ	39	c	4
		①ウ	40	d	4
		②	41	c	4
		③	42	d	4
	(2)	①	43	c	4
		②	44	b	4
		③	45	e	4
		④	46	c	4
	(3)		47	a	4
6	(1)		48	e	4
	(2)		49	d	4
	(3)		50	e	4